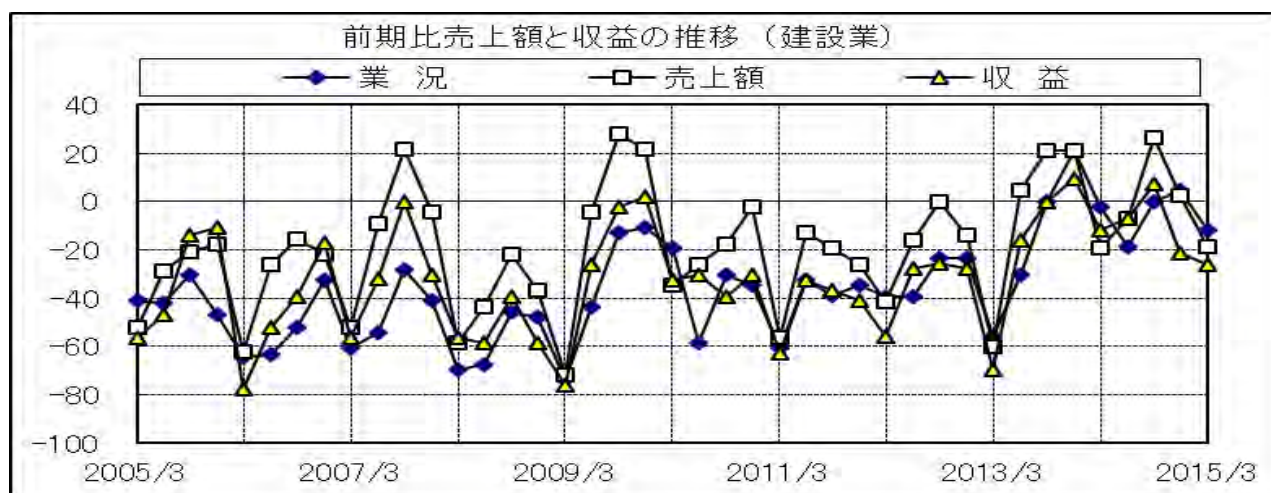


建設業 42 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
業 況	0.0	4.8	-11.9	-21.4
売上額	26.2	2.3	-19.0	-16.7
収 益	7.2	-21.4	-26.2	-16.6

今期の業況判断 D. I. は $\Delta 11.9$ と、前期比 16.7 ポイント下降した。地区別 D. I. の水準は高い順に、広尾、様似、浦河、三石、えりも、静内の順となった。前年（ $\Delta 2.4$ ）比では、9.5 ポイント下降した。売上額判断 D. I. は $\Delta 19.0$ と、前期比 21.3 ポイント下降した。収益判断 D. I. は $\Delta 26.2$ と、前期比 4.8 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
請負価格	14.4	2.4	7.2	9.5
仕入価格	45.2	42.9	28.5	23.8

請負価格判断 D. I. は 7.2 と前期比 4.8 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 28.5 と、前期比 14.4 ポイントの下降で価格上昇基調を弱めた。前年比では請負価格（前年 $\Delta 2.4$ ）は 9.6 ポイント上昇、仕入価格（同 59.5）は 31.0 ポイント下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
残業時間	4.8	-4.8	-14.2	-16.6
人手状況	-16.6	-28.6	-9.6	-9.6

残業時間判断 D. I. は $\Delta 14.2$ と前期比 9.4 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 9.6$ と、前期比 19.0 ポイント上昇し、人手不足感を弱めた。

□ 設備投資の動き

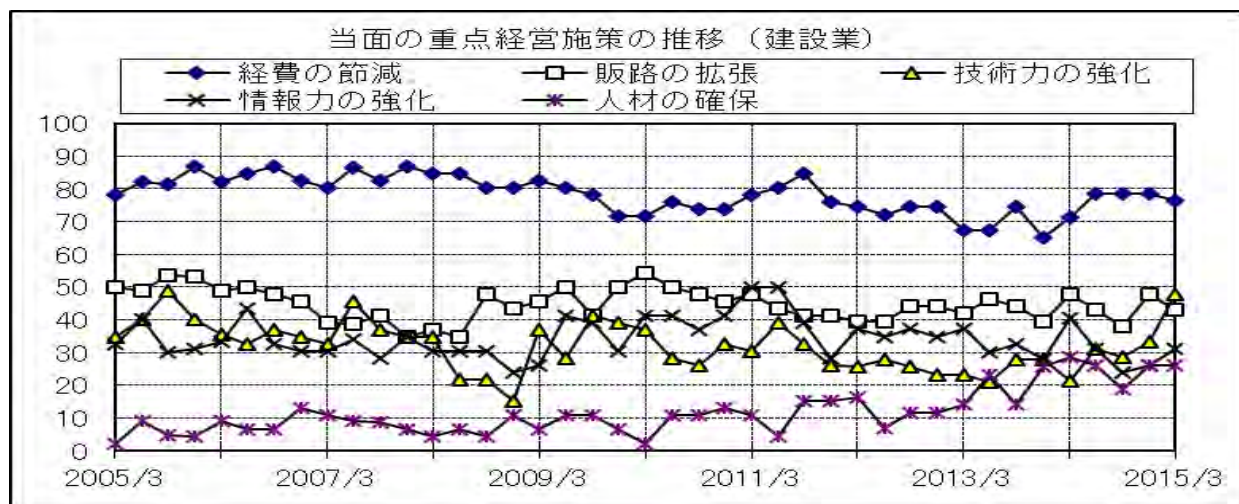
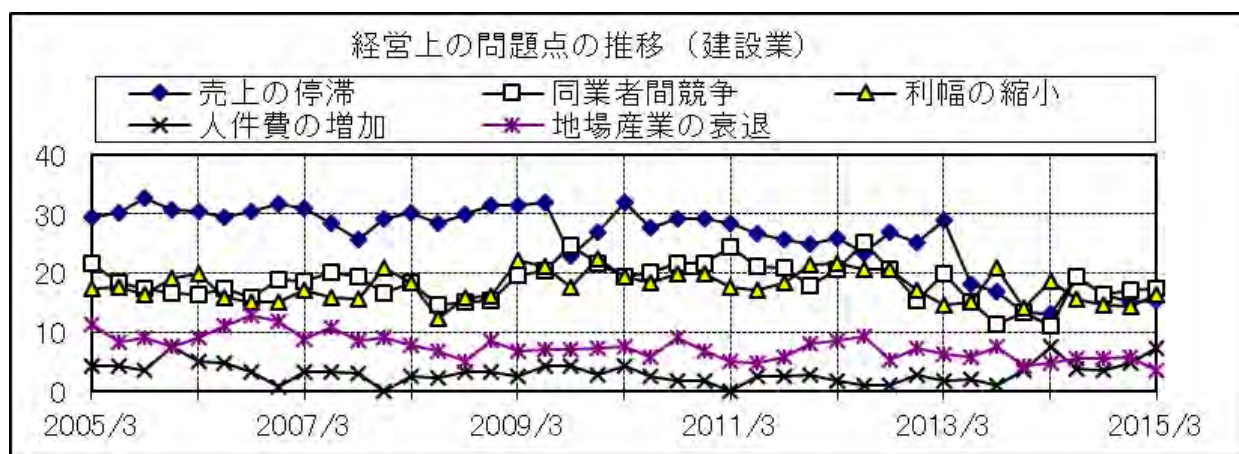
設備投資の充足感を示すD. I. は△4.8で、前期比4.7ポイントの上昇となった。

設備投資実施企業割合は19.0%と、前期比7.2ポイント下降、設備投資は前期11社対し、8社の実施となった。来期の設備投資は、6社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「同業者との競合」17.3%、「利幅の縮小」16.4%、「売上停滞減少」15.5%、「材料価格の上昇」が10.9%と続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ76.2%、次いで「技術力を高める」47.6%、「販路を広げる」42.9%、「情報力を強化する」31.0%、「人材の確保」が26.2%で続いている。



来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△21.4と、今期比9.5ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は△16.7と、今期比2.3ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は△16.6と、今期比9.6ポイントの上昇を見通している。

予想請負価格判断D. I. は9.5と、今期比2.3ポイントの上昇を見通している。

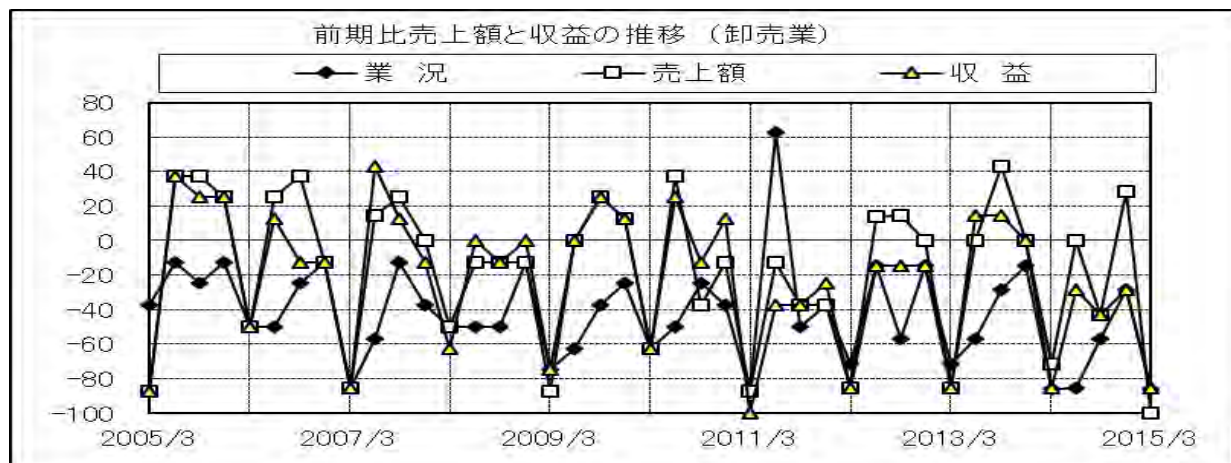
予想仕入価格判断D. I. は23.8と、今期比4.7ポイントの下降を見通している。

卸 売 業 7 企 業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
業 況	-57.2	-28.6	-85.8	-57.1
売上額	-42.9	28.6	-100.0	0.0
収 益	-42.9	-28.6	-85.7	14.3

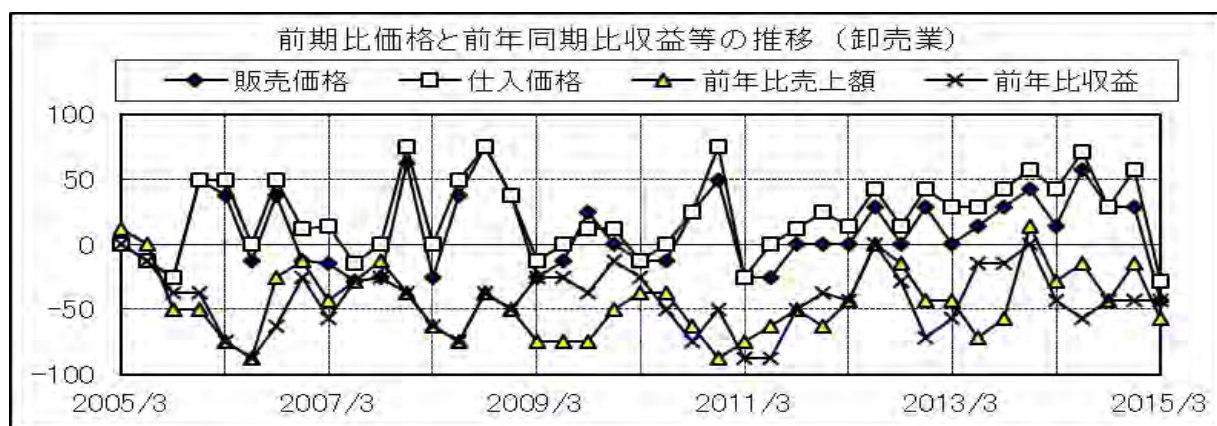
今期の業況判断 D. I. は△85.8 と、前期比 57.2 ポイントの下降。地区別の水準は、三石地区は改善、浦河地区が横ばい、静内・様似地区は下降となった。前年（△85.8）比では横ばいとなった。売上額判断 D. I. はプラス水準から△100.0 へ大きく下降、収益判断 D. I. はマイナス幅が拡大し△85.7 となった。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	1～3月 期見通し
販売価格	28.6	28.6	-42.9	57.2
仕入価格	28.6	57.2	-28.6	42.9

販売価格判断 D. I. は△42.9 と、前期 71.5 ポイント下降した。仕入価格判 D. I. は△28.6 と、前期比 85.8 ポイント下降した。業種別にみると、水産、食品ともに販売価格・仕入価格は下降となった。前年比では、販売価格（前年 14.3）は 57.2 ポイント下降、仕入価格（同 42.8）は 71.4 ポイント下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	1～3月 期見通し
残業時間	-28.6	14.3	0.0	14.3
人手状況	0.0	-14.3	0.0	-28.6

残業時間判断 D. I. はプラス水準からゼロ水準へと 14.3 ポイント下降した。

人手過不足判断 D. I. は前期比 14.3 ポイント下降し、ゼロ水準となり、人手不足感は解消された。

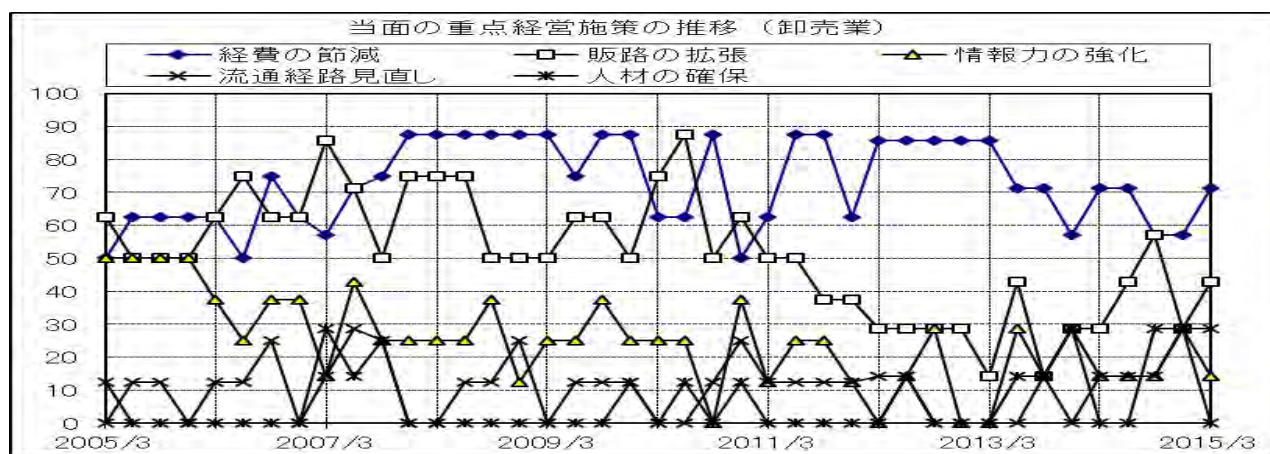
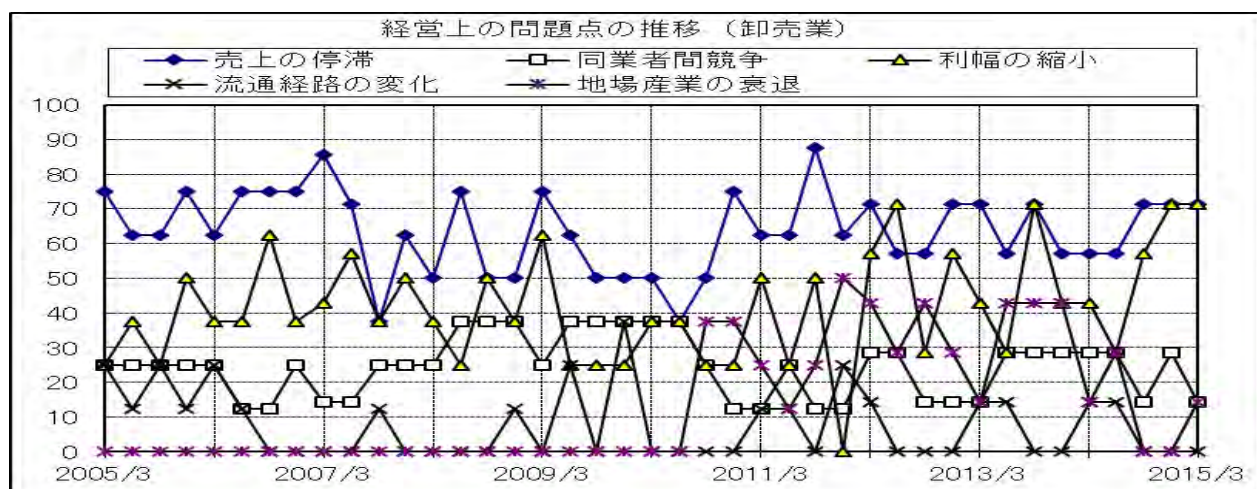
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は、前期に引続きゼロ水準となった。投資実施企業は、前期3件に対し0件となった。来期の設備投資の予定もゼロ件となり設備投資の動きは見られない。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」・「利幅の縮小」が同率の71.4%、「同業者との競合」・「値上げの要請」・「諸経費率の増加」・「取引先の減少」・「天候の不順」・「地場産業の衰退」が同率の14.3%となった。

重点経営施策では、「経費を節減する」をトップに挙げ71.4%、次いで「販路を広げる」42.9%、「流通経路を見直す」が28.6%となり、「情報力を強化する」・「新事業を始める」・「不動産の有効活用」が同率の14.3%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△57.1で、今期比28.7ポイントの上昇を見通している。
 予想売上額判断D. I. はゼロ水準で、今期比100.0ポイントの大幅な上昇を見通している。
 予想収益判断D. I. は14.3で、今期比100ポイントの大幅な上昇を見通している。
 予想販売価格判断D. I. は57.2で、今期比100.1ポイントの大幅な上昇を見通している。
 予想仕入価格判断D. I. は42.9で、今期比71.5ポイントの大幅な上昇を見通している。